

2010年8月6日から3泊4日の日程で、担当校大阪浪速中学高等学校、提唱クラブ大阪住吉RCにより、国際交流を深めるため韓国(ソウル)第3650地区、Hanyoung外国語高等学校IACを訪問しました。

結団式では松本G、提唱クラブのメンバー、インターアクター父兄の皆様よりエールを送られ元気に出発しました。訪問団員は大谷PGを名誉団長に当地区、大阪浪速、清風、大阪桐蔭、四天王寺、金光八尾、相愛学園のインターアクター37名、顧問8名、ロータリアン9名の総勢54名です。今回の研修は韓国(ソウル)の文化及び伝統に触れ互いに理解を深めるというものです。特に今回は担当校である大阪浪速高校の雅楽部が日本の伝統文化を披露するために参加をしました。

1日目は、第3650地区全前総裁、南大門RC朴会長が金浦空港に出迎えに来られていました。そして一行は、自由の橋、統一展望台を見学しました。北朝鮮を目の前にして平和の大切さを考えさせられる思いでした。その後、ホテルに戻り交流会に備えて準備及びリハーサルを行いました。

2日目はホスト校であるHanyoung外国語高等学校を訪問してインターアクター17名と交流をもちつつ校内を案内されました。昼食は校内食堂に於いて現地の学

生生活の状況を知るよい機会でした。午後は日韓インターアクター共同奉仕活動としてshinawon養護施設を訪問して、大阪インターアクター3人と韓国インターアクター2人が一組になって清掃作業等々の奉仕に専念しました。インターアクターは、感激に満ちた顔でした。夜の交流会では、第3650地区の南大門RCホストで始まり大阪インターアクターは「雪の華」「今日の日はさよなら」を熱唱しました。続いて大阪浪速高校による雅楽の演奏、四天王寺学園による江戸時代の頃からの縁起物の門付け芸として親しまれている「南京たますだれ」を披露して日韓の交流会に花を添えました。

3日目は韓国民族村を観光してソウル市内(明洞)にて自由行動、午後はJump公演(ユーモアと武術で観客を魅了し世界中から注目)を観劇しました。夜はRI第3650地区とRI第2660地区との韓日インターアクト交流歓迎会をRI第3650地区のホストでAw Convention Centerで来賓として、李前RI会長を向え盛大に催されました。

最後の日は、景福宮、南大門市場を見学して解団式を行ない無事帰路に着きました。

今回の研修旅行は大谷PGを名誉団長として同行して頂き日韓交流の橋渡しになれたと思います。韓国の日常文化、生活を学び、今年度のRIのテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」という大スローガンの実現に向かって国際交流することができ、インターアクターにとっても将来役立つことだと思います。

